

特集 アメリカのワーキングマザー事情

11月13日から17日まで、マザーネットの上田、丸岡、長井の3名で、ニューヨークへ出張してきました。理由は、「The Stevie Awards (ザ・スティービー賞)」の「Women in Business(女性賞)」のファイナリストに選ばれたからです。

11月14日の夜に、ニューヨーク・マリオット・マーキースにて開催された授賞式にて、アメリカで活躍するワーキングマザー、そして人事部の方々にインタビューを行いましたので、ご報告させていただきます。



Michael P. Gallagher氏(左から2番目)と、司会のCheryl Casoneさん(中央)と。

✿ The Stevie Awards (ザ・スティービー賞)とは？

映画やテレビ番組、広告などの国際的なコンテスト「ニューヨークフェスティバル」の運営などに携わったマイケル・ギャラハー氏が創設。2002年の「The American Business Awards (アメリカビジネス賞)」を手始めに、2003年の「The International Business Awards (国際ビジネス賞)」、2004年の「The Stevie Awards for Women in Business (女性賞)」、2006年の「The Selling Power sales Excellence Awards (セールス賞)」の4ジャンルが創設され、それぞれに多数のカテゴリーを有する独立系の包括的なビジネス賞です。

✿ 女性賞とは？

女性賞は31ジャンルあり、個人だけでなく、女性向けのサービスや女性のチーム・組織なども対象となっています。マザーネットは、「**“Women Helping Women” Award**」のファイナリストに選ばれました。授賞式当日に、ファイナリストの中から、ウィナーが選ばれます。今年は日本から初の受賞者が出ました。

Best Asian Executive

有限会社アクティア 社長 松村敦子さん

Most Innovative Company of the Year – Up to 100 Employees

株式会社イーウーマン(代表取締役 佐々木かをりさん)

マザーネットは残念ながら、受賞には至りませんでした。

✿ 授賞式の様子 http://www.stevieawards.com/pubs/women/awards/414_2252_19439.cfm



授賞式には、アルゼンチン、オーストラリア、オーストリア、カナダ、インド、イギリス、ベネズエラ、アメリカから290名の女性経営者や関係者が集まりました。各ジャンルのウィナーが発表される度に、歓声が上がります。

私はウィナーではなかったのですが、壇上に呼ばれ、スピーチをすることになりました。スピーチの内容は、以下の通りです。

In 2001, I started “Motherner” to provide overall support for working mothers in Japan. The traditional view that “a man should work while his wife stays at home” still persists in Japan. The Mothernet supports women who are raising children while holding a job. We offer service to resolve problems that those women often face when they are balancing career and family, for example, a care of a child with a sudden fever. I do hope that these services help Japanese women take more active roles in the society and I believe that is my life’s work.

授賞式が終了後、次々と私たちのところへ、人が集まってきました。「スピーチ、すごくよかった」「インスピレーションを感じた!」などの感想が。英語はたどたどしいのに、情熱が通じたようで、心から感動しました。

